

さいゆうしゅうしょうえら さくひん よこ た かんたわくくん
最優秀賞に選ばれた作品の横に立つ神田和琥君
がつようか いずもしやのちよう いずも
= 11月8日、出雲市矢野町の出雲ドーム



「未来の出雲」 図画作品

神田和琥君(西野小)が最優秀賞

11月8日、9日に
出雲市矢野町の出雲ドームで行われた「いずも産業 未来博」で、「未来(〇〇年後)の出雲」の図画作品審査授賞式が行われ、市立西野小学校6年の神田和琥君が最優秀賞を受賞しました。

「最優秀賞が取れるとは思っていなかったのびびっぴりした。とって

いずも産業未来博

多くの自然豊かな動物が住む

他に、出雲市長賞を市立斐川西中学校2年の森にこさん、実行委員長賞を市立平田小学校4年の和田美花さん、市立第二中学校3年の田中佳衣さんが受賞しました。

シリーズ 郷土の偉人 28



西山砂保は、出雲に西洋の近代医学を伝え、多くの人を治療した偉人です。
江戸後期の1781(天明元)年に神門郡荻原村(現在の出雲市荻原町)で代々、医師をつとめた家に生まれ、医師を目指すため若い頃より医学の勉強に励みました。



にしやますなほ いずもぶん かでんしょうかん ていきょう
西山砂保 (出雲文化伝承館提供)

西山砂保 (1781-1839)

1811(文化8)年、30歳になった砂保は、世界で初めて全身麻酔薬を使って乳がん手術を成功させた和歌山の医師・華岡青洲を訪ね、麻酔薬の作り方や外科手術などを学びました。
1823(文政6)年、ドイツ人医師のシーボルトが長崎に來日すると、西洋医学の名医として名声が全国に広まり、砂保の耳にも入りました。最新の西洋医学を学びたい砂保は、1825(文政8)年に長崎へ向かい、シーボルトが長崎出たえられました。

嘉村医院

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	×
13:30~15:30(往診)	○	○	○	×	○	○	×
16:00~18:00	○	○	○	×	○	×	×

糖尿病学会認定専門医 嘉村 正徳
出雲市上島町1025
TEL (0853) 48-0666 FAX48-9022

MKFC

みもりキッズ・ファミリークリニック
院長 南 憲明
〒693-0051 島根県出雲市小山町442-2
TEL:0853-25-8860/FAX:0853-25-8870
ホームページ <https://www.mimori-kids.jp/>

2025年2月開院

小山皮膚科クリニック

院長 医学博士 皮膚科専門医 中川 優生

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	●	●	●	/	●	●	/
15:00~18:00	●	●	●	/	●	/	/

出雲市小山町269-4
TEL (0853) 25-7212